

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 櫻田涼子
提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 都市と故郷の往還的移動による家の維持：
マレーシア華人社会における女性の労働と子どもの養育をめぐる人類学的研究

英文 Maintaining of House by Circulation Networks between City and Hometown:
An Ethnographic Study of Women's Labor and Upbringing Children
Among Chinese Society in Malaysia.

【メンバー構成】

研究代表者 櫻田涼子
幹事
メンバー

【ねらいと目的】（600 字程度）

本プロジェクトでは、これまで漢民族社会研究の系譜上に位置付けられ、父系社会として固定的に分析される傾向があったマレーシア華人社会を、父系による関係だけではない双系的ネットワークにより維持されるより柔軟な社会であるという視点から検討することを旨とし、都市と故郷を往復しながら子育てと労働を両立させる華人女性をめぐる養育実践と家族関係の変化について明らかにすることを目的とした。

マレーシア華人社会では、子どもの養育は父系系譜関係にのみ維持される実践ではなく、父系あるいは母系のゆるやかなネットワークを維持しながら、あるいは非親族やナーシングマザーといった外部の協力、地域コミュニティとの関係性によってその実践が可能となる。マレーシア華人社会における子どもの養育とは、親子を取り巻く家族という親密圏と非親族や地域コミュニティといった公共圏の関わりなくしては維持できない実践であるといえるだろう。本研究は父系系譜関係だけではないより大きな社会関係により維持され実践可能となる子どもの養育について検討することを目的とする。

【活動の記録】

【調査】

2011 年 1 月 3 日～1 月 9 日：マレーシア・ジョホール州においてマレーシア華人社会における女性の労働と子どもの養育についての現地調査の実施

2011 年 2 月 5 日～2 月 18 日：マレーシア・ジョホール州においてマレーシア華人社会における女性の労働と子どもの養育についての現地調査の実施

【研究会・ワークショップ】すべて研究代表者櫻田涼子による発表

2010 年 9 月 9 日：南京大学社会学院・人類学研究所“謀思談” Mauss Seminar において“Making Own Places: Studies on Lives of Chinese Malaysian in Low Cost Housing Estate”を発表

2010 年 11 月 20 日：日本マレーシア学会関西例会（於：大阪市立大学）において「低価格住宅団地におけるマレーシア華人の住宅改造と住まいの諸実践」を発表

2010年12月11日: The 3rd Next-Generation Global Workshop, Kyoto University Global COE "Migration: Global Reconstruction of Intimate and Public Spheres"において“Connecting Places: Women’s Circular Networks and Child-rearing Practices among Chinese Malaysians.”を発表

【成果の概要】 (800字程度)

本研究プロジェクトでは、二度の現地調査を計画した。第一回調査は、2011年1月3日から1月9日までの7日間の日程で実施した。第二回調査は、2011年2月5日から2月19日までの14日間の日程で実施する予定である。これまでの文献調査と現地調査から以下の点が明らかとなった。

1. 女性の就業は子どもの養育より優先される
2. 子どもの養育はリタイアした夫婦の両親（主に母）が担う事例が多く、何らかの事情によりそれが困難な場合は、保姆やナーサリーなどの外部養育サービスを利用する
3. 都市への移住・出稼ぎが多い地域では、母方親族との密接な紐帯が女性の婚出後も維持される

華人社会における都市労働と移住を問題とし、変化する親族関係を明らかにしたジュディス・ストラウチは、世帯単位の農業生産を基礎とする父系社会において「娘」や「嫁」という女性に付されてきた役割は、賃金労働に基づいた経済システムに移行すると曖昧になり、従来の伝統的父系社会にみられた親族関係が変化することを指摘している。つまり、都市化する父系社会では母方親族とのつながりが強まり、父系と母系の双方の親族関係を維持する双系的傾向がみられ、父系出自や父方居住といった漢民族社会の伝統的親族関係が弱体化しつつあることを指摘している。この点は、本研究の調査からも明らかになった。女性が賃金労働に従事することが優先されるマレーシア華人社会において、子どもの養育はもはや母親である女性が単独で担うものではなく、父方母方の親族ネットワークと外部支援により維持されるものであることが明らかとなった。

【通信欄】

(研究代表者記入)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	300 (千円)	実績額 300 (千円)



写真1 ジョホールバルに戻る両親を見送る長男
2011年2月13日筆者撮影



写真2 クランバレーに戻る娘と孫を見送る女性
2011年2月13日筆者撮影



写真3 パサール・マラム（夜市）で買い物をする親子
2011年2月12日筆者撮影